

生活指導だより

平成26年11月28日

練馬区立大泉北中学校

いじめ防止にむけて

○いじめ防止標語

練馬区では、いじめ防止に向けて、今年度は、標語に取り組んでいます。昨年度は、シンボルマークの作成に取り組みました。選考の手順は、クラスの代表作品→学年代表作品→学校代表作品となっています。現在、学年代表作品から学校代表作品の選考に当たっています。学年代表作品は、後日校内での表彰を行い、全校でいじめに対する意識を高めていきます。

3年生代表作品

- A組 Oさん 「言葉って 想像以上に 重たい物だ」
- A組 Kさん 「心の傷 減らそうみんなで 声かけて」
- B組 Wさん 「言えないんです だからサインに 気づいてください」
- C組 Mさん 「届いていませんか？心の声が さしだせませんか？ あなたのその手」
- D組 Mくん 「『いじめ』を楽しむ者は 『いじめ』に泣く」
- E組 Iさん 「やめなきゃ 亡くなる 1つの命 守ろう みんなで 億分の1の命」

2年生代表作品

- A組 Kくん 「今ここに 気付いてほしい 人がいる」
- A組 Hさん 「一言で 救える命が 目の前に」
- A組 Yくん 「やめとけよ その一言で 救われる」
- B組 Mさん 「やめよういじめ とめよういじめ 築こう笑顔」
- C組 Kくん 「いじめる側はいつだって冗談 でも、いじめられる側はいつだって本気」
- E組 Mさん 「気づいてください とても小さな 『心の叫び』に」

1年生代表作品

- B組 Oさん 「いじめをしている人は、強いではなく弱い人 されている人は、弱いではなく、本当は強い人」
- B組 Gさん 「話してみても？力になるよ！ 一人じゃないから」
- C組 Gくん 「「見ているだけ それも一つの いじめだよ」
- C組 Tくん 「見てみなよ あの子の笑顔は 本当かな」
- E組 Kさん 「『やめなよ』の その一言で 救われる」
- E組 Hさん 「気付きたい 暖かい言葉を待っている その子の瞳に」

○11月はふれあい月間

練馬区では、年に3回（6月・11月・2月）をふれあい月間として、生徒たちの生活で、特に「いじめ」「暴力」「欠席日数」について重点的に点検をして、すべての生徒が充実した中学校生活を送るための資料としています。

また、良好な人間関係という観点から、スマートフォン等による無料通話アプリ（ラインなど）による、生徒同士の情報交換にも心配なところがあります。学校では、使い方を間違わないようにすること、そして、もしかしたら使い方を間違ってしまうかもしれない人は、スマートフォン等を持たないでくださいと話しています。ご家庭で携帯電話やスマートフォン等を持たせている場合は、定期的に点検していただければと思います。

11月26日（水）合唱コンクール

10月6日に予定されていた合唱コンクールが11月26日に実施されました。自宅から練馬文化センターへの交通手段が変更になり、特に朝のラッシュ時間帯ではどうなるかと心配していましたが、各学年とも、交通機関を利用した校外学習の経験を生かし、大きな混乱はなく電車を使うことができました。今回、電車の利用に当たっては、「計数券」という切符を使いました。普段、生徒が電車・バスを利用する時はパスモなどのプリペイドカードの利用が多くなっているのか、改札機に切符は入れるのが取り忘れる生徒が何人かいました。それでも、他の利用者の方に大きな迷惑を掛けることは無かったように思います。

合唱コンクールでは、各学年・各クラスが練習の成果を存分に発揮して、素晴らしいコンクールになったと感じています。真剣に演奏する生徒たちに応えるように、会場が緊張感に包まれ、その場にはないと感じられない貴重な体験を、すべての生徒ができたと思います。この取り組みを大北中の伝統として代々引き継いでいってほしいと願っています。

安全教育推進校発表

11月13日（木）に、東京都安全教育推進校の発表が、ご来賓の方々、他校の先生方、多数の保護者の皆様に参加していただき行われました。最初に避難訓練を公開しました。今回の避難訓練は、「緊急地震速報」が発令された時の対応でした。生徒は、緊急地震速報を聞いたら、「落ちてこない・倒れてこない」場所をすぐに選び、何秒後かに襲ってくる大きな地震に備え、身の安全を確保するというものです。避難訓練後の講評では、講師としてご来校いただいた板橋区教育委員会学校防災・安全教育専門員の矢崎良明先生より、「避難訓練は、何校も見っていますが、その中でトップクラスの素晴らしいものでした。真剣に取り組む態度、行動の迅速さとてもよかったです。」とお褒めをいただきました。



また、公開授業では、1・2年生は「危険から、自らの身を守ることができるようになること」、3年生は「地域の安全のために、貢献できるようになること」をテーマとして、安全に関しての理解を深め、自分の安全・みんなの安全について考えました。3年生の授業の一場面で、「幼児や小学生の安全を守るためにどんなことができますか」という課題に、「幼児や小学生には、私たち自身の行動で手本を示し、安全について学んでもらいます。」という意見が出るなど、とても頼もしく感じられました。

その後の講演会において、矢崎先生からは、災害や犯罪に、いつ襲われるか分かりません。自らの身を守る教育の必要性を、大人がしっかり認識し、子どもたちが実践できるようにしていくことが大切ですと話がありました。当日の公開には保護者の方々も多くお越しいただき、安全教育の重要性を再認識していただけたと感じています。大北中では、同じ地域の大泉第一小・大泉北小とも連携して、地域の安全に貢献していきます。

☆学校へのご意見などございましたらお願いします。（切り取ってお使いください）☆